

NEWS RELEASE

No. 14-21

2015年2月5日

(公益) 損害保険事業総合研究所

ISJ テキストをインドネシア語に翻訳

公益財団法人損害保険事業総合研究所（理事長 遠藤 寛、以下「当研究所」）は、一般社団法人日本損害保険協会と共同開催している I S J（日本国際保険学校、Insurance School (Non-Life) of Japan)用で作成している保険テキストにつき、インドネシアの保険教育機関である「インドネシア・リスク保険研究所（Sekolah Tinggi Manajemen Risiko dan Asuransi [STIMRA]）」と翻訳に関する合意に達し、今般 ISJ テキストのうち「再保険（Basic Theory and Practice of Reinsurance）」のインドネシア語版が完成しました。

STIMRA は、インドネシア財務省と現地保険関連団体との協力により 2005 年に設立された保険教育機関で、各種保険講座を運営し専門家の育成に努めています。

翻訳版の完成を記念して、1 月 26 日（月）にジャカルタにおいて翻訳版披露記念式典が開催されました。式典には日本側から当研究所の遠藤 寛理事長と諏訪 博士企画総務部長が出席し、遠藤 寛理事長が「日本における損害保険教育」のテーマで講演を行いました。

インドネシア側からは 100 名を超える出席者があり、STIMRA の B. Munir Sjamsoeddin 会長から「日本の損保業界は、欧米の大手保険会社と対等に競争できる。そうした国の再保険テキストを翻訳し保険教育に活用できることはインドネシアの損保業界の発展に大いに貢献する。今後さらに他種目のテキストを翻訳し使用したい。」との挨拶があり、次いでインドネシア損保協会 (AAUI) の Fauzie 会長、金融庁 (OJK) の Yusman ノンバンク局長から挨拶がありました。その後、翻訳書（写真）と感謝状が遠藤理事長に授与されました。また講演会においては、出席者から「損保総研の教育内容」や「損保総研の講座と損保各社独自の教育の違い」など数多くの質問が寄せられ、日本の保険教育についての関心の高さを窺うことができました。

日本の損害保険業界は、1972 年の I S J 設立以降日本において東アジアからの研修生を受け入れたセミナーや東アジアの主要都市におけるセミナーなどの貢献活動を継続的に実施してきました。今回 I S J テキストが翻訳されたことは、東アジアの損保業界への貢献活動へ新たな一歩を踏み出したこととなります。



テキスト翻訳記念式典での当研究所遠藤理事長（右）、諏訪企画総務部長と STIMRA の B. Munir Sjamsoeddin 会長（中央）



ISJ 再保険テキスト。オリジナル版（英文・左）と今回翻訳されたインドネシア語版（右）

本件に関するお問い合わせ先
〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人損害保険事業総合研究所
企画総務部 諏訪、海外研修部 根本
(TEL : 03-3255-5511)

以上

この資料は、保険関係業界紙各社に同時に配布しております。